



# 高校生参画のまちづくり ~始動~ シティセールス推進事業

「甲賀の國づくりプロジェクト」では、「若い世代の希望に応える、多様な選択肢をつくる」ことを戦略の視点に掲げ、定住・交流人口を呼び込み、みんなが憧れ、人々からも企業からも選ばれる「まち」となるためのシティセールスを実施していくこととされています。この取り組みのなかで、若者の柔軟でみずみずしい感性を取り入れ、まちを「売り出す」プランづくりをスタートさせました。

## 選ばれるまちへ

シティセールスは、「まちを売り込む」、「まちを宣伝する」ということです。市は、これまでも観光や企業誘致などPRに力を入れてきましたが、他の自治体が行う同じような範囲ではありませんでした。

そこで、誰もが甲賀市を連想できるイメージやデザイン

を創りだし、市の魅力アップにつなげ、選ばれるまちにしていくとしています。

## 若者参加によるシティセールス

シティセールスの材料は、伝統産業や文化財、様々なイベントなど、数多くあります。これらを効果的に発信していくことで市の知名度を高めていくことになりませんが、肝心の市民皆さんに受け入れられ

るものでなければなりません。特に、流行に敏感な若者に受け入れられないものは、大きな効果が期待できません。「何かおもしろそう」というワクワクするような気持ちを若い世代が持つてくれるものを創りだしていくことを一つの柱としています。

## 高校生の発想で甲賀をPR

そこで、市では、市内の高校にお願いし、生徒の発想から生まれてくるアイデアをシティセールスの材料にしていこうと考えています。

高校生は普段、行政やまちづくりに直接かかわる機会が少ない存在ですが、自らが流行を創りだしていくパワーや友だちの輪を持っています。

高校生から見た甲賀市の魅力を形にし、行政と共に発信していくことで、市内の多



▲ワークショップでアイデアを出し合う高校生

から生み出されるアイデアも取り上げていく計画をしています。

## 自由な発想を大切に

人口減少社会を迎えたなか、次代を担う若い世代の皆さんが、郷土の魅力を考え、市政参画してもらうことは、大きな意味を持ちます。

市は、高校生が次々にアイデアを生み出す自由な発想を大切にしながら、行政と若い世代のパートナーシップで甲賀市の魅力を飛躍させていきたいと考えています。

くの皆さんに共感を呼び込んでいこうとしています。形にするには、専門的な技術や知識をもった専門家のアドバイスも必要ですが、自分たちで生み出していく過程や、形づくった達成感は、大きな発信力に代わっていくものと期待しています。

## 水口高校で始動

市内には公立高等学校が4校あります。この内、市役所から最も近い水口高校に協力を求め、生徒会の皆さんが取り組みを始動してくれました。

これまで2回集まり、自由なアイデアが行き交っています。たとえば、「街道や城跡など、今あるものを売り込んではどうか」「サッカーチームやイメージキャラクターなど新しいものをつくらう」といった意見などです。また、写真集やポスター、動画の作成などの提案も出されています。出された提案をこれから絞り込み、生徒のアイデアを様々なメディアを使って発信していく成果品にしていく予定です。

同時に、他の公立高等学校にもお願いし、違った発想

**みずみずしい感性こそ市の宝**



甲賀市長 中嶋武嗣

私たちのまちを国内外へ売り込んでいくことは、将来の甲賀市の発展に欠かすことはできません。伝統的な産業や歴史ある文化など、今ある資源を発信していくことはもちろん大切ですが、若さあふれる、みずみずしい感性をもった高校生にも参加してもらい、セールスポイントを創りだしてもらうことを願っています。

どんなものが提案されるか、今から非常に楽しみにしながら、甲賀市のために意見を出し合ってくれる過程も大切にしていきたいと思っています。

この取り組みは、市内の高等学校へ順次協力を求めていくこととしています。高校生皆さんが形にしてくれたものは、若者に共感を与え、すばらしいシティセールスにつながるものと大いに期待しています。

**県立水口高等学校**



もり つかさ 教頭 森 宰

生徒は進学を志す者や部活に熱中する者など様々ですが、今の高校生は時代の流れにとっても敏感で情報量が多く、それらの情報からイメージーションを膨らませたり、時にはその情報の中に入り込んだりと、話題に事欠きません。

今年から18歳に選挙権が引き下げられ、高校生が市民として市政に関心を持ったり、参画したりすることは大切なことだと思っています。

シティセールスにどんなアイデアが出てくるか、どんな形で表現してくれるか、とても楽しみです。

**県立水口高等学校**



2年生 なかま たいき 仲 大樹さん

僕は、生まれたときから17年間甲賀市に住み、学校には自転車で通っています。甲賀市の魅力は、近所の方が気軽に声をかけてくれる田舎ならではの、人と人とのつながりだと思います。ただ、もう少し交通の便が良くなればと感じています。

仲間とのワークショップで甲賀市の売り出し方を考えるのは、いろいろな意見やアイデアが出てとても楽しいです。市のいいところは、探せばもっと見つかると思います。僕自身が甲賀市のことをもっと好きになって、皆さんにも好きになってほしいです。甲賀市には、将来も住めるなら住み続けたいと考えています。